

(別紙2-1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年11月1日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	4270700257		
法人名	社会福祉法人 白寿会		
事業所名	平戸荘グループホーム		
所在地	〒859-5361 長崎県平戸市紐差町 450 番地		
自己評価作成日	平成25年10月20日	評価結果市町受理日	平成26年1月20日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	<a href="http://www.kajikokensaku.jp/42/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;IgcvsvoCd=4270700257-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022">http://www.kajikokensaku.jp/42/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;IgcvsvoCd=4270700257-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022</a>
--------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目 6 番 5 号
訪問調査日	平成25年11月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・毎日の食事以外にも行事食やおやつ等、手作りで提供し喜ばれている。
- ・豊かな自然の中で、家庭的な雰囲気作りと皆で笑いほっとできる場所、また安心して過ごして頂ける場所を目指し、協働の中での自立支援を行いながら日々の業務に取り組んでいる。
- ・清掃には EM を使用し、環境に優しい施設を目指している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平戸の雄大な自然の中にある平戸荘は、見晴らしの良い高台に立地する 9 人床のグループホームです。同じ敷地内には、同法人が運営している介護老人福祉施設が併設されているので夜間などの緊急時における協力体制も整っています。

ホーム内は明るく、広いリビングを囲むように居室が配置されており、全体の状況が把握しやすい造りとなっています。

周辺の地域の方々との関係はとても良好で、日常の交流の他にも運動会や夏祭りなど様々な行事を通じて地域の人々とふれあう機会を大切にされています。

施設長の下、職員みんなのチームワークが良く、利用者が安心して穏やかに生活できるように日々話し合いながら支援を行われています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を施設内2ヶ所に掲示し、毎朝の朝礼時に職員全員で唱和を行い、1日の業務で実践できるように努めている。	理念は、以前から実践していたホームの十か条を元に職員で話し合い、特に大切にしたい事を抜粋して作られています。誰にでもわかりやすい理念で職員にも浸透しています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度より所属地区の班長となり、回覧板の順配や区費の徴取等の仕事を行っている。会合や清掃活動にも参加し、地域の方との交流が図れている。	地域との繋がりを大切にされており、婦人会の方々とお団子作りを楽しんだり地元の行事に参加したりされています。近隣の小学校とも様々な行事で交流が図られています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員が地域の行事に参加した際に相談を受ける事があるが、記録して残せていない事が課題として挙げられる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、運営推進会議を行っている。行政関係の委員の方やご家族、利用者様を交えた報告会や意見交換会ができています。	会議では、ホームの現状報告や人事・行事計画等その他、法人の運営に関する報告もなされています。家族代表はあらかじめ決めて参加をお願いされています。	代表以外の家族の参加や運営推進会議の結果の報告など、家族にホームの運営に関心を持って頂けるような取り組みを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議での定期的な報告等ではできているが、連絡を密に取る所までは至っていない。	必要な連絡や問題があった場合の相談などが適宜行われています。同法人の夏祭りには、市役所や社会福祉協議会などの協力も得られています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束の研修会に参加したり、参加職員による平戸荘全体での伝達講習会に参加する事で、職員全員が身体拘束廃止の理念を持って、ケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホームでは身体拘束ゼロを掲げられており、職員には十分な勉強会も行われています。また、外部研修や法人でつくる身体拘束委員会にも参加され、随時新しい情報も入手されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束同様に、職員全体での伝達講習会にて虐待防止について学び、日々の業務に取り組んでいる。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護を利用されていた利用者様が退所され、関心が薄くなっている現状。 職員の意識向上の為に研修等への参加や勉強会が必要である。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>文書を交わし、口頭での説明を行い、同意の下で記名・捺印を頂いている。</p>	/	/
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、意見や苦情・要望を受け付けたり、面会時の聞き取りや手紙のアンケート等によって、少しでもご家族や利用者様の要望を取り入れながらのサービスが行えるように努めている。</p>	<p>面会時や電話の際にご家族からの意見や要望を聞くように努められています。意見や要望はすぐに職員ミーティングで話し合われており、結果について家族に報告されています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度のグループホーム会議で意見交換を行っている。また随時、意見や提案は責任者や管理者へ伝え、サービスの出質の向上に努めている。</p>	<p>日常業務及び介護並びに、運営に関する意見が活発に出されています。施設長と職員は互いに信頼し合い、相談しやすい関係が構築されています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者からの報告、グループホーム会議での意見要望についてはできるだけ聞いて対応している。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員の研修参加過程等の資料を参考に次の段階の研修をと思って対応している。人事考課制度も導入している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>年1回の同業者での風船バレー大会の交流会等などはできているが、相互訪問等はできていない。</p>		
<p>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前に家庭や病院等を訪問し、ご本人の希望・要望・不安等を確認している。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用前や申し込みの相談を受ける際に、ご家族の要望を確認し、不安等の緩和ができるよう、コミュニケーションを図っている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>担当ケアマネと連携し、情報交換を行っている。</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活において利用者個人の得意分野を生かし、同時に職員も学ばせて頂きながらの良い関係が保たれている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話で随時連絡を行い、随時ご家族の意向を取り入れながらサービスの提供を行っている。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出・外泊の支援や利用者様の希望を取り入れて、随時ドライブを行う等実施している。	利用者の行きたい場所があれば、家族と相談し外出を支援されています。お寺の僧侶や教会の神父をホームに招くなど、利用者の習慣を大切にされています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格を考慮した席次を検討したり、随時職員が仲介役となって対応している。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された利用者様のご家族と会った際には近況を尋ねたり、困った事がないか等の確認を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様個人の希望・意向の把握の方法としてセンター方式を取り入れた。職員が一丸となって個人の事を考え、よい経験となった。	利用者一人ひとりについて職員が深く考え、本人らしい暮らしが実現出来るよう考慮されています。本人や家族から随時情報が収集され、意向の把握にも努められています。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>アセスメントシートを使用し、ケアマネやご家族の情報、生活歴等を職員がいつでも見られるように努めている。</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>申し送りとミーティングで情報を得て、随時状態の把握に努めている。</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>面会時や電話でご家族の意向を確認し、ご本人や担当者を変えた会議を行い、ケアプランを作成している。</p>	<p>介護計画は本人・家族の意見を尊重しながら個別の会議により作成されています。利用者の担当職員を中心に職員全員で気付いたことを出し合いケアプランに反映されています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日パソコンのケアノートに入力し、索引を用いてモニタリング等に活用している。</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入院時の洗濯物のサービスや遠距離の病院へ受診の対応等を行っている。</p>			
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>教会の神父様の友愛訪問、小中高生、婦人会のボランティアの訪問や、地域の行事にも参加できるように努めている。</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に1度の定期受診と、体調不良や急変時に随時受診を行い、異常や特変があればご家族への報告に努めている。また受診が困難な利用者様は、訪問診療にて適切な医療を受けている。</p>	<p>利用者の安心感を一番に考えらえており、以前からのかかりつけ医を受診することも可能とされています。各医師との連携も十分に図られており、体調変化時には早めの受診が行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>診断が不明瞭な場合は併設施設（特養）の看護師や病院の訪問看護師に報告・相談を行いながら、受診等の対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は介護サマリーにて情報提供を行い、定期的な面会を行いながら病棟看護師に現状を確認したりと、良好な関係作りに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時、状態が重度化した場合に意向確認書にてご本人・家族の意向を確認している。現在まで看取りの事例はなく、地域との「チーム」としての支援はできていない。</p>	<p>ホームでの看取りについては検討の段階です。契約時にホームで対応出来ることについての説明が行われおり、職員に対しては、終末期ケアについての勉強会が行われています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の救急救命の講習を受けている。また、吸痰の講習を修了した職員を配置して、急変時に対応している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災に対する勉強会を開催している。また夜間の呼集訓練や避難訓練では、地域の協力を得ながらの訓練が行えている。</p>	<p>避難訓練や消火訓練などが計画的に行われています。災害時に備え、建物の周りをベランダで囲んだり、非常階段や避難用すべり台を設置したりと、設備面の強化も図られています。</p>	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報に関わる内容に注意を払いながら、個人に合わせた言葉かけや対応に配慮している。  利用者の尊厳やプライバシーについては、職員研修でも特に力を入れて指導されています。利用者への言葉かけは、郷土の言葉を交え、親しみを持たせながらも敬意と節度を忘れないように気をつけてられています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人の希望が聞けるような対応に心がけ、また認知があっても、常に自己決定を促すような言葉かけや対応に努めている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせて業務中心にならないよう取り組んでいる。またセンター方式を用いてアセスメントを行い、ニーズを引き出す事ができた。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お店に行けない方も出張販売にて衣類等を購入されている。また本人希望時には美容師資格を持った職員が散髪や白髪染めを行っている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや台拭き、配膳を一緒に行っている。誕生会会食のメニューは利用者様の希望を取り入れ、手作りの料理を提供している。  家庭菜園で作ったサツマイモを蒸かして3時のおやつにしたり、春の花見の季節には眺めが良いベランダでお昼ご飯を食べたりと食が楽しくなるような工夫が見られます。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が作成したメニューに添って献立を作成し、摂取量、嗜好等の記録を毎日パソコンに記入・入力している。

42	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアにはカテキン効果のあるお茶を使用している。自力を促し、できない部分の介助を行いながら口腔内の観察に努めている。</p>		
43	<p>16 ○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を使用し個人の感覚に合わせてトイレ介助を行っている。昼夜はパットの使い分けを行い無駄をなくすように努めている。</p>	<p>排泄の自立に向け、排泄パターンや利用者の様子を観察しながら、タイミング良くトイレへの誘導が出来るように心掛けられています。</p>	
44	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝水分補給の時間に自作のヨーグルトを作成し皆さんに飲んで頂いており、下剤の使用なしで排便が見られるようになってきた。</p>		
45	<p>17 ○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>希望があればいつでも入浴は可能となっている。また入浴剤も色を変えたりと変化をつけ、体調に合わせてゆっくりと入浴を楽しんで頂けるように努めている。</p>	<p>基本的には、利用者ごとに入浴日が決められています。ただし、希望があれば毎日入浴する事も可能です。利用者の状況に応じて、リフォームされる事もあり安全にお風呂を楽しめるよう努められています。</p>	
46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>シーツの交換や布団は基本当番で行い、また汚染時は随時交換する事で気持ちよく過ごして頂いている。日中も体調に応じて、いつでも横になって頂けるよう配慮している。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局からの処方箋を受診記録にファイルし、随時確認や把握に努めている。臨時薬についても、症状の変化を観察しながら服薬介助を行っている。</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>裁縫や茶碗洗い、台拭き等を進んで行って頂くようになり、また誕生会でのビールや献立の工夫、歌や踊りで楽しんで頂いている。</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>玄関前の花見や畑の野菜採り、施設周辺の散歩、買い物等に同伴で出かけている。地域の行事にもできるだけ参加できるように支援している。</p>	<p>日常的に散歩や買物に出掛けられるなど、気軽に外出ができるよう支援されています。夏には海に遊びに出掛け、自然の中で弁当を食べるなど、計画的な野外活動も行われています。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持されている方はいませんが、小遣い金としてお預かりし、外出や買い物等の希望に応じてご本人と話し合い支払を行っている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>広報送付等にご本人の一筆箋を同封したり、希望があればご家族に電話を入れて話をして頂いている。</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季折々の花を飾って季節感を出し、食事の際にはBGMを流している。気候の合わせて窓の開閉や空調の調整を行い、快適に過ごして頂けるように努めている。</p>	<p>自然光があふれる明るいリビングには、大きなソファの他に畳スペースもあり、冬にはコタツも設置されます。廊下も広く全体的にゆとりのある空間で、車椅子での移動も楽に行えます。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>たたみの間に一人で横になったり、思い思い自由にソファや椅子に座って頂いている。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の趣味に応じてテレビを置いたりご家族との話し合いで畳の間にしたりと工夫をしている。	使い慣れた家具や愛着のあるものは、居室へ自由に持ち込まれています。乾燥する季節には各居室に加湿器が設置され、適切な温度と湿度の調整に努められています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援として、トイレの手すりや風呂場の改修を行った。また、クローゼットのダンスに入っている衣類を表示し、ご本人が選びやすいようにしている。		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1, ほぼ全ての職員が
		○	2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		○	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない